

2025（令和7）年度 埼玉医科大学中堅看護師『看護研究の実際』 研修プログラム

研修日時 研修場所	時間	形態	講師	研修内容	備考
8月5日(火) 9:00～10:00	1		職員キャリア アップセンター	開講式 オリエンテーション	研修期間中は、所属責任者へ進捗状況 を随時報告し協力・指導を求める
10:10～12:10 13:00～16:10 職員キャリアアップ センター（埼玉医療 福祉会看護専門学校 第二校舎 B 教室）	5	講義	秋山千恵子	1. 実践における看護研 究の意義 2. EBN とは、EBN の現状 3. 研究倫理 4. 研究デザイン 5. 研究方法	各自が使用している看護研究に関する 文献を持参する
8月6日(水) 9:00～10:30 短期大学 5階 PC 室 10:40～12:10 短期大学 5階 PC 室	1.5	講義	稲井洋子	1. 文献クリティークの 意義 2. 文献クリティークの 実際 (研究論文の書き方含む)	
	1.5	講義 演習	荒川浩明	3. 文献検索の方法	文献検索の方法を体験しながら学ぶ
8月20日(水) 9:00～16:10 職員キャリアアップ センター（埼玉医療 福祉会看護専門学校 第二校舎 C 教室）	6	講義 演習	椎橋実智男	1. 看護研究に必要な統 計学 (聴講)	1) 看護研究で多く使われる統計手法の 正しい活用法を学ぶ 2) 例題を演習する * パソコン持参 * 参加者への配布ファイル（データ）
9月1日(月)～ *受講者が担当 講師と日程・ 場所を調整	1～4 回/月	演習	久保かほる 霜田敏子 今野葉月 瀧山文恵	1. 看護研究の中で疑問 を明確にする 2. 研究計画書を作成 する 3. 各施設の看護研究 倫理審査を受ける 4. 計画書に基づいて実 施し、データを分析 する 5. 得られた成果を論文 としてまとめる	1) スケジュール管理を主体的に行う 2) 受講者は講師と日程を調整し、積極的 に指導を受ける 3) 看護経験の中で疑問が研究テーマと なり得るかを検討し研究目的を明らか にする 4) 文献検索・検討を行い研究背景・価値 を検討し研究目的を明らかにする 5) 研究方法、倫理的側面を検討する 6) 研究計画書を立案する 7) 研究に関する各施設の条件を達成し、 看護研究倫理審査を11月までに 受けられるように準備する (研究倫理 e-ラーニングなど) 8) 計画に基づいてデータ収集する 9) 収集したデータを分析し結果を適切に 読み取る
令和8年 2月16日(月) 15:00～16:00 職員キャリアアップ センター	1	発表		1. 中間情報交換会 中間発表を行い、他者 との意見交換を通して 研究内容を発展させる	10) 結果を飛躍せずに考察する 11) 研究の限界を客観的にとらえ今後の 課題を検討する 12) 中間情報交換会にて、他者との意見 交換を通して研究内容を発展させる
6月25日(木) 12時までに提出				1. 論文、自己評価表、 発表用パワーポイン トを提出する	13) 論理的に研究論文を作成する 14) 研究計画書・論文作成とともに C 以上 の評価で修了認定される
7月4日(土) 9:00～12:00 職員キャリアアップ センター（埼玉医療 福祉会看護専門学校 第二校舎）	2	発表	職員キャリア アップセンター	1. まとめの発表会 得られた成果を発表し 他者の講評を受けて 研究内容を発展させる ことができる	1) まとめの発表会で発表後、 既存の学会で研究成果を発表 する 2) 他者評価を受けて課題を発展的に 考える 3) 研究全過程を通して研究的態度を学ぶ
				修了式 アンケート	発表会後のレポート提出 提出日未定